

事務事業名	乳幼児保健事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	S36 終了		
H29作成課等名	保健課	H29係等名	保健指導係	H28担当課等名	保健課			
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	31	心と体の健康づくり					
目的	対象(誰・何を)	0～3歳児とその保護者		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①疾病の早期発見と健やかな発達 ②保護者の育児不安が軽減する			各年の出生児数(0～3歳児)		3424	
	向上させたい上位施策の成果指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合 %						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	各健診の受診率(4か月・1.6歳・3歳) %		95	97.7	95	98.4	
	成果指標	母子個人相談と電話相談件数 人		3400	3347	3300	3595	
定性目標								
事業概要	<p>乳幼児の病気の予防と早期発見および健康の保持、増進を目的として、乳幼児健診、家庭訪問、育児相談等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな成長と保護者がそれを喜べるよう子育て支援を行う。 ・発育、発達について保護者が客観的に確認でき、育児の見通しを持つ機会とする。 ・保護者の心配事や不安が軽減され、育児について具体的な方法を考える機会とする。 ・継続支援が必要な場合は、専門機関へ紹介する。 							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 股関節脱臼検診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の実施 (1)股関節脱臼検診 (2)4か月児健診 (3)1歳6か月児健診 (4)3歳児健診			1 実施回数、人数		1 (1)24回 812人 (2)48回 842人 (3)42回 792人 (4)44回 863人		
	2 1歳6か月児健診と3歳児健診のスタッフとして、臨床心理士を配置する (1)心理相談			2 実施回数、人数		2 (1)86回 177人		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	8,756	10,210	8,641	0	(そ)ふるさと寄附金			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他			1,637					
一般財源	8,756	10,210	7,004					
人件費計(千円)②	6,532	7,240	7,240	0				
正規職員所要時間	1,686	1,793	1,793					
臨時職員所要時間	468	770	770					
総事業費①+②	15,288	17,450	15,881	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診の受診率は95%以上を維持している。未受診者には電話や家庭訪問によって受診勧奨や状況把握を行っている。 ・28年度については、正規職員の減員があったため、臨時職員と雇いあげ職員で対応している。・健診における臨床心理士の相談回数は、平成28年度は86回中71回の心理士の配置にとどまっており、臨床心理士の確保は難しい状況である。 							
改革改善の考え方	①問題点	乳幼児健診の実施回数は現状で妥当であるが、今後、上郷公民館の建設に伴い、乳幼児健診会場の変更について検討が必要となっている。臨床心理士は募集をしても応募がない。こども家庭応援センター、こども発達センターひまわりからの応援も十分でなく、臨床心理士の配置は健診回数の82.5%である。						
	②改革提案	・保健センターの改修が終了し乳幼児健診での利用が始まるため、運営方法等の検討を行う。また今後、上郷公民館新築に伴い乳幼児健診会場および実施回数の検討を行う。・健診における臨床心理士の配置は必要であるが、現状では十分な人員配置が難しいため、健診項目等の変更により、支援が必要な場合は、こども家庭応援センター等と						